

【すぐーる配信】



屯田



令和7(2025)年9月26日

学校便り 第8号
札幌市立屯田小学校

学校の合言葉 **A あいさつ・あたたかい言葉**
「エース」 C 挑戦・チャレンジ
E いい顔・笑顔

10月の行事予定 帰宅時刻…16:30 まで

1日(水)	全校朝会 教育相談①(給食あり4時間授業)
2日(木)	教育相談②(給食あり4時間授業)
3日(金)	教育相談③(給食あり4時間授業)
6日(月)	教育相談④(給食あり4時間授業)
7日(火)	教育相談⑤(給食あり4時間授業) SC来校日
8日(水)	
9日(木)	5年滝野宿泊学習①
10日(金)	5年滝野宿泊学習② 2年メグミルク出前授業
13日(月)	㊟スポーツの日
14日(火)	
15日(水)	3年教えてファイヤーマン クラブ(3年見学)
16日(木)	1年心臓検診(午前) 6年ドリームスクールキャラバングラス教室
17日(金)	
20日(月)	
21日(火)	札幌市教育研究推進事業研究集会 給食あり短縮4時間 12:55下校
22日(水)	クラブ(最終)
23日(木)	避難訓練④
24日(金)	SC来校日
27日(月)	図書館まつり
28日(火)	4年アイヌ文化体験
29日(水)	委員会⑦
30日(木)	
31日(金)	研修日 全校5時間授業

11月の主な行事予定

12日(水)	学習発表会 児童公開日1日目
13日(木)	学習発表会 児童公開日2日目
14日(金)	全校5時間授業(学習発表会準備のため)
15日(土)	学習発表会保護者公開日
17日(月)	振替休業日
20日(木)	就学時健診(1・2・3年4時間授業)

9月30日 前期通知表を発行します

9月30日(火)(3年生は29日)に前期の通知表をお渡しします。1年生と今年度の転入生の皆さんには専用クリアファイルに入れてお渡しします。また、2年生以上は黄色の個人情報保護袋に入れてお渡しします。お子さんの前期のがんばりをご家族でも話題にいただき、そのがんばりの現れ(賞状、写真、テスト、手紙など)をファイルのポケットに入れて保管していただきたいと思ひます。なお、個人情報保護袋は10月3日(金)までに学校に返却してください。



よろしくお願ひします～教育相談～

1日(水)～7日(火)にかけて、教育相談を行います。1年間の学校生活の折り返し地点となるこの時期に、お子さんの成長の様子、がんばりの様子、これからの目標などについて保護者の皆様と話し合い、思いを共有していきたいと考えています。

21日(火)は教職員の研修日です

21日(火)に「札幌市教育研究推進事業 秋の研究集会」が予定されています。札幌市内の教職員が集まり、より良い授業の在り方や指導の方法などについて話し合い、理解を深め合う研修会です。

そのため、この日は短縮4時間授業となり、給食を食べた後12時55分に下校となります。放課後の過ごし方についてお子さんと確認くださいますようお願いいたします。

秋を迎えて ～帰宅時刻は16:30～

日の暮れる時刻が早くなってきました。本校の定める帰宅時刻は10月から16:30となります。これは公園等の遊び場を出発する時刻ではなく、自宅に到着する時刻です。ご家庭でも、お子さんと帰宅時刻をしっかりとご確認ください。

クラブの日程変更について

猛暑の影響で、クラブ活動が2回中止となりました。そのため、15日(水)にクラブ活動を1回追加します。また、3年生の見学もこの日に行いますので、習い事などの調整をお願いいたします。

今回のコラムは、「柔軟性」「小さな一歩」「小さな幸せ」「ありがとう」について綴っています。

小さな一歩

今年のおおぞら2組の学級便りのタイトルは、「はじめのいっぽー未来へー」です。はじめの一歩がなければ、何も始まらない。この一歩が自分の未来に続いていく、という思いを込めて、学級のみんなで考えたものです。

「だるまさんがころんだ」で遊ぶ時は、「は～じ～め～のい～っぽ!」と大きく跳び出すことが多いのではないのでしょうか。でも、実際の生活の中で何かを始める時には、大きく一歩を踏み出すには不安を感じることがあると思います。そんな時、勇気を出して、小さな一歩を出すことで、どんなに小さな一歩だとしても、昨日とは少し違う自分になれる気がします。人と比べることなく、自分の一歩を大切にしてほしいと願っています。

ありがとう＝有り難い＝当たり前ではない

「ありがとう」という言葉の語源は、有り難しという仏教語とされています。要するに、有ることが難しいことに対して言う言葉です。そう言われると、何か特別な時に使うイメージを抱いてしまいがちですが、実際にはそうではありません。ご飯を食べられること、学校に通えていること、協力してくれる人がいること、笑顔でいられること……。たくさんありますが、これらは決して当たり前のことではありません。「当たり前ではない＝有難し」なのです。

こう考えると、自然と「ありがとう」が周りにたくさんあることに気付きます。たくさん有る有り難いことに、「ありがとう」を伝えていきたいと思う今日この頃です。

「当たり前」は「当たり前じゃない」

私はフレキシブルという言葉が好きです。最近ではフレックスなどと形を変えて聞くことが増えました。日本語訳は「柔軟な」。6年生から1年生の担任になり、物事を柔軟に考えなくてはいけないことが多くありました。入学前に、年長さんとして何でもできるようになって送り出されてきた子どもたちの「当たり前」が、だんだん小学生の「当たり前」に昇華していき、社会の「当たり前」を理解していく。そのためには、子ども一人ひとりのもつ「当たり前」に対して、私たちの「当たり前」を押し付けるのではなく、柔軟な対応をしていく必要があると感じる機会でした。子どもたちが直面した問題に対してどう解決していくのか、興味深く見守りながら日々を過ごすことがとても楽しいです。

特別な ななかまど

北海道では街路樹としてよく目にするななかまど。本州では標高1000～2500mくらいの山地にだけ生えています。そのため、富山県出身の私にとって、ななかまどは立山登山(富山の一大観光地「立山黒部アルペンルート」から頂上を目指します。)に行った時にだけ見られる特別な木でした。実だけが赤い夏のななかまども、全体に紅葉した秋のななかまども、家族と一緒にケーブルカーやバスを乗り継いで登山口まで向かったワクワクした気持ちとつながっています。

北海道に住んでもう数十年たちますが、今でもやっぱりななかまどは、私にとって特別な木。見つけるとなんだか嬉しい気持ちになります。

これからも身の回りにある小さな幸せを見つけて、「嬉しいな♪ラッキー♪」と思う気持ちを大事にしていきたいと思います。

※富山へは飛行機の直行便もあります。ぜひどうぞ!

